

「市長と語ろう！」意見交換会（タウンミーティング）

【対象者別】立川市老人クラブ連合会理事会【概要】

日時：令和4年10月4日（火）

14時30分～15時30分

場所：柴崎福社会館

1 開会の挨拶

（老人クラブ連合会会長）

本日は、公務、ご多忙中のところ、「市長と語ろう！」市長との意見交換会にご来館いただきまして、誠にありがとうございます。

事前に連絡させていただいた質問、意見等、それから、発言もあるかとは思われますが、時間の許す範囲内でご対応をよろしく申し上げます。

（市長）

こんにちは。市長の清水でございます。本日は、この話し合いの場にお呼びいただきまして、大変ありがとうございます。

ちょうど今、来年度の予算づくりが始まったところでございまして、大変難しい予算づけもございしますが、ぜひ皆さんのお声を聴かせていただいて、予算をつくってまいりたいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

2 意見交換

（司会）

それでは、まず、事前にいただいた質問について、市長の清水からお答えさせていただきます。

まず、市営公園への防災倉庫設置についてのご質問です。「私どもの老人クラブは、自治会と市民防災組織と協働で地元の市営公園に防災倉庫の設置を要望しています。地元の公園の管理運営は立川市なのですが、土地は所有地を借り受けて開設されています。既存の防災倉庫は全て市有地の市営公園に設置されていて、所有地の市営公園に設置された前例がありません。設置さえしてくれれば倉庫の管理責任は市民力で対応させていただきます。同じ市営公園で、地域防災という非常に重大な要件ですので、借地料などの支出が発生してしまったとしても是非とも前向きなご検討をお願いしたいと要望いたしますがいかがでしょうか。」

（市長）

防災倉庫に関してでございます。市で管理する公園のうち市有地以外の公園については、公園としての貸借契約等により無償で利用させて頂いている公有地等があります。そのため、公園管理者以外が施設を設置する場合には、所有者の承諾を得る必要があります。また、状況によっては有償となることもあります。現在、個別の状況に応じて設置に向けた協議を行っており、所有地の市営公園に無償で設置できるかについて協議を進めております。

（司会）

それでは、次のご質問に参ります。高齢者の医療費についてご質問いただきました。「今、

高齢化社会になっています。コロナ、インフルエンザ、大変だと思います。病院に行くのも大変、医療費も大変です」といただきました。

(市長)

高齢者の医療に関してです。高齢者の方が、医療機関を受診することや医療費が負担になっていることは存じており、大変なこととっております。高齢者の方々の医療保険につきましては、その年齢によって保険の制度が異なっており、70歳から74歳までの方は主に国民健康保険、75歳以上の方は後期高齢者医療制度となります。病院で受診される場合の一部負担金の割合は、国民健康保険では2割と3割、後期高齢者医療制度では1割から3割に分かれております。どちらの制度につきましても、医療費が高額になった場合には、限度額を超えた分を返還する高額療養費の制度がございますので、ご心配の場合は担当の保険年金課へご相談いただきたいと思います。

(司会)

それでは、次のご質問に参ります。砂川中央地区北多目的運動広場についてのご質問です。「何年か前にも多目的運動広場のトイレの話が出ましたが、老人クラブの活動で多人数が集まり利用しますが、未だにトイレ2カ所と手を洗う水道について、水の流れがたれ流し状態で周りが水浸しになります。他に駐車場近くにトイレがありますが高齢者には遠く、ぜひ今の場所でトイレ2カ所以上の設置と手を洗う水回りの改善をお願いします。もし、砂川地区での災害時には多目的広場が避難所になり多くの人が集まると思います。その為にもトイレ関係の充実が必要になると思います。」

(市長)

砂川中央地区北多目的運動広場に関してでございます。ご指摘の当該運動広場の手洗場につきましては、水浸しにならないよう改善いたしました。なお、砂川中央地区北多目的運動広場は避難所としては指定してございません。トイレの増設につきましては、当該運動広場が国からお借りし、暫定的な施設であります。必要性を含め、国と機会をとらえて協議していきたいと考えております。

(参加者)

これは前に私、市長にこういう会議で質問したと思います。今回もグラウンドゴルフ大会を行っていたところ、トイレのドアが開かなくなったんです。そのたびに、私、担当者に頼んで、開けてもらってるんですけども、今回は2回ドアが開かなかったんです。ちょっと歩けば、グラウンドゴルフとかペタンクとかやっていると、やっぱり疲れるんですね。早く直してくれよって言って、私はゲームをやっている途中からそういうことをやっているんです。ですから、我々、確かに年4回しか使っていないですけど、ゲームの途中でも行く人がいるんです。そんなことで、トイレも、ちょっと、四、五人抜けるともうゲームが止まっちゃう、そういう状況なんです。ですから、少なくともあと一個つくってもらえれば私はいいのかなとは思ってはいるんですけど、そういうところを市長にやっぱり考えていただきたい。

(総合政策部長)

今のトイレの件でございます。まず、現場を担当に必ず確認をさせていただいて、ドアが開かないとか、そういったところがないように、まず対応させていただければと思います。それから、トイレの増設については、先ほど市長がお答えしましたように、国と協議をさせていただく中で可能かどうかというところはまた改めてお答えをさせていただけれ

ばと思いますので、一旦預からせていただければと思います。

(参加者)

私どもの老人会でグラウンドゴルフをやっているところが、一番町の少年野球場でやっています。その少年野球場に設置されております、先ほどと同じトイレ。トイレの内容が和式なんですね。皆さん、高齢の方、もう昔のおじいさん、おばあさんは和式でいいやというふうに安易に考えて思っているかもしれませんが、ほとんど足腰が悪い方ばかりで、とうとう間に合わず粗相をしちゃった人は今までにもおります。あんまり大きな声では言えないことなのですが、残念なことなんです。それで、前から洋式に改善してくれるかと要請しております。それで、あそこのところに来て陳情しておりましたが、もう考えております、考えておりますと何度も言われて、1年経過しました。何らか進展がないので、どうなったかなと思います。

それと、もう一個、トイレじゃなくて、一番町の野球場は、12月から3月まで使用禁止となっております。今の時期、12月、全然使えるんですよ。でも、管理の方に聞いたら、12月、いいですよ、使ってくださいというふうなのがありました。でも、私どもは、管理者として言うことはできませんということで、使用者の我々が陳情してくれないとできませんというふうに管理者の方に言われました。ただし、1月以降、3月はやっぱり霜が降ります。だから、それはできないと思います。ですから、12月は、できたら、使用できるようにお願いしたいと思います。

(市長)

霜が降りてくる時期は使用禁止としています。学校のグラウンドさえも使用禁止であったわけでありまして、1月から3月までやって、温暖化の影響もあるとは思いますが、12月を外すというのは現場での判断も必要かと思いますが、それは少し調べさせていただきます。

(総合政策部長)

和式のトイレのことでございます。こちらはご要望をたくさんいただいているというお話でございます。今、市長の耳にも届いておりますが、市内全域の中でもまた順番もございまして、ただ、今、お声をいただいたというところでしっかりと私どもも受け止めていきたいとは思っていますので、よろしく申し上げます。

それから、12月のグラウンド使用についてでございます。温暖化の影響で12月は、まだそんなに霜が降りないというところもございまして、土のグラウンドだけではなく、芝のところ、また霜の具合もありますので、そこは規則でいろいろ決められているところもございまして、そこはまた市の中で、担当が検討していくと思っておりますので、今のご意見は伝えてまいりたいと思っております。今、即答でこれはオーケーですとなかなか言えないんですけれども、お声のほうは伝えていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

(司会)

それでは、続いて、事前にいただいているご質問をご紹介します。高齢者の人材について、いただいております。「近年の立川市の施策は、明らかに高齢者の日常生活の実態や精神生活のありようを忖度せず行われていると感じる。優秀な市職員が多数いることは実感しているが、想像力が欠如している部分があると思える。高齢者、できれば後期高齢者を雇用してチェックしてはどうか。

また、「行政には、できる限界がある」とは言ってほしくない。公務員として、法律、条

例、予算などに縛られるのは理解できるが、その壁を突き抜ける知恵や方策を職員が見いだし、実行できる雰囲気を出してほしい。」

(市長)

高齢者の人材活用についてでございます。年齢を限定した職員の採用については制度上難しい点もございますが、高齢者の末永いご多幸とご活躍を祈っています。ご提案の趣旨を踏まえ、高齢者をはじめとした多様な市民のみなさまの視点に立って対応していくことのできる職員の育成に努めてまいりたいと思います。

また、職員に対しては、日頃より「市民の声に耳を傾け、市民に寄り添う姿勢で対応するよう」指導しているところであります。引き続き、市民の皆様の立場に立って、広い視野で柔軟に対応し、また様々な課題に果敢に挑戦し、積極的に新たな取組を進めることのできる職員の育成に努めてまいります。

(参加者)

それを書いたのは私なんですけれども、実はこの老人クラブの会長になって、いろんな高齢者の方に接しておりますと、何か立川市の連帯の姿勢、市役所の職員の皆さんがとても丁寧な接してくださるのはよく分かるんですけれども、何かある種の高齢者に対する、どういえばいいんですかね、分別でやるっていうんですかね、何かそういう雰囲気だと感じるんですよ。例えば、どういうことかといいますと、一例は新型コロナのワクチン接種のときの話に戻りますけれども、最初の受診案内をするときに、その前に八王子でやったのと同じ方式を立川では取ったわけですよ。それで、八王子は接種で大混乱が起きてうまくいかなかった。あのとき、同じように立川市でも高齢者の方はとても苦労したわけ。接種の予約を取るのがとても大変だったと思う。もう、これ、同感の方はいっぱいいると思うんです。高齢者はとても大変で、ネットは使えない、しかも電話は8時から5時まで対応と、一日かけっ放しにして、今日も駄目だった、昨日も駄目だったけど、今日も駄目だった。とても絶望感で、何か置き去られ感が満ちていたから、前にいっぱい出したわけ。私はその前に、いろんな方に言って、市の方に、あれじゃ駄目だと。もっと高齢者のことを考えろと言ったんですけど、結局はそのままになった。もう一つは、予診カードだったかな、ああいうのは字がほんとに小さくて、高齢者にはとても読みづらかったと言われました。だから、今回のインフルエンザの高齢者向けの予診票、送られてきますけど、あれなら何とかいけると。あれぐらいせめて大きい字で出してほしいというような声もありました。

それから、もう一つは、あさって、高齢者のつどいというのが行われますけれども、あれを市のほうがほとんど関与しなくて、地域文化振興財団のほうへ丸投げするという話で、その理由をその辺でお話になったんです。その中で特にうわっと思ったのは、市の職員に手伝ってくれるように頼むのが困難になってきたという一文があったんです。これはどういうことだ。今までは、多分、市の職員の方が、市の高齢者のつどいときにはいろいろ手伝ってくださったと思うんです。高齢福祉課だけじゃなくて、あったと思うんですけれども、ほかの部署の職員の方にも、もちろん、センターはお願いしていたと思うんですけど、それが難しくなってきたというのは、我々にとってはとてもショックでした。だから、そこに座っておられる方は、今度、私どもと同年代の方もちょっとはいらっしゃいますけれども、ほとんどは若い方なので、若い方がいかに高齢者の実態を考えてくださって、施策に結びつけていくかというのをぜひともお願いしたい。でないと、もう、例えばその年

年齢構成を見ても、もう25%、30%は高齢者になるわけだから、その実態を無視していろんなことはできないんだと思うんです。しかも、これをもっと、高齢者を見れば見るほど、それぞれは違うものですから、いろんな状況が違うので、できるだけきめ細かく対応する何か体制を取っていただかないと、これから対応できなくなっていくんじゃないかという心配があります。

(保健医療担当部長)

それでは、ワクチン接種の担当ですので、その点についてお答えさせていただきます。ご指摘いただきました、非常に案内が不十分、分かりにくい、また、予約を取るに当たっても大変混乱しているといったお声は私どももいただいております。国を含めたワクチン接種の情報が多岐にわたりますので、漏れがないようにきちんとワクチン接種の効果とリスク、これを丁寧に説明したいということでいろいろと情報を集めて案内しているところでは、なるべく大きな字で、要点を絞ってまとめるようには工夫をしておりますので、引き続きご確認いただきたいというふうに思います。

それから、本市のワクチン接種ですが、外に掲示されていましたが、都内では、東京都の平均に比べて、1回目、2回目、3回目、また、ここで4回目が進んでおりますが、平均よりも接種率が高いといった実績があります。こちらは、皆様のご協力によってこれだけ接種が進んでいるといったところで大変感謝しているところでございます。このことを踏まえまして、皆様への案内、それから、コールセンターも徐々に拡大しております。ここでオミクロン株対応のワクチンがこれから始まりますけれども、スタッフの人員をさらに増強するといった予定ですので、ぜひ皆さんの意向に沿えるように努力してまいりますので、引き続きよろしく願いいたします。

(福祉保健部長)

お話の中に高齢者のつどいに関する部分がありましたので、その部分についてご回答させていただきます。現在、市では、皆様、高齢者の方々の生きがいづくりということで、社会参加をしていただくために高齢者のつどいを毎年実施させていただいてまいりました。今年につきましても、今週木曜日、金曜日、市民会館R I S U R Uホールにおきまして開催を予定しているところでございます。ご指摘のありました、市の職員が応援に出てこれられないとか、そういったことでの説明があったという部分でございますが、もう少しだけ説明をさせていただきますと、市の行政におきましては、様々なサービス施策を展開しているところでございます。その中で、費用対効果ですとか、業務の効率化、市民サービスを低下しないで効率的に業務を進めていくというようなことを様々な工夫しているところでございます。その中で、皆様も楽しみにしていらっしゃる高齢者のつどいも取り組ませていただいているというところでございます。市としては、皆様へのサービスに影響が起らないような形で、費用もなるべくかからないような方法、または、さらにサービスが向上するような方法がないかということで様々なサービスに取り組んでいるところでございますので、ちょっと説明の中で行き違いがあったかもしれませんが、決して皆様へのサービスの低下を招くようなことを進めているわけではなく、皆様のサービスを維持向上させながら、市全体の業務の中でどうあるべきかということで、現在、検討を進めているということでご理解いただければと思います。今週末の日程でございます。もし申し込んでいらっしゃる方がこの中にいらっしゃるとしたら、お待ちしておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

(司会)

それでは、次の質問をご紹介します。緑川の暗渠工事について、いただきました。「緑川の暗渠工事について。当クラブでは緑川公園の美化を行っていますが、外柵が赤く錆びて大変みすぼらしくなっております。工事の関係で放置されているかも知れませんが、今後の工事スケジュールや将来の公園の道路化等、現在わかる範囲でご教示ください。」

(市長)

曙三西公園は年内までの利用をもって一時閉鎖を予定しています。閉鎖後、下水道工事に伴い公園施設の撤去等を行い、令和5年度内にフェンス等の復旧の後、令和6年度からの供用開始を予定しています。

(参加者)

今、市長のご説明の中で、公園の今後の使い方で、使用するという事はどういうふうにするかをもう一度ご説明していただけますか。公園なのか、道路にするか、いろいろ話は聞いておるんですが、あの道路、あそこの今の緑川道路、あそこのところを今の真ん中のところにたとえ道路化しても、非常に、魅力はないと私は思っておるので、ぜひまた公園としていただければというふうには思っております。ご回答をお願いいたします。

(総合政策部長)

細かいところなので私のほうからお答えをさせていただければと思います。今は工事の資材置場等の場所として公園を使わせていただいております。また、ここの公園の下の暗渠、緑川の暗渠の工事が終わりましたら、また元に戻していく形になりますので、そこを道路にするという計画では今のところないですけれども、戻すのにまた同じような形というところ、また近隣の方にお声を聴きながら公園の担当がやっていくかと思っておりますので、またその際はお声をいただければと思います。よろしく申し上げます。

(司会)

それでは、事前にいただいた質問は以上となります。そのほか、ご質問がある方は挙手をお願いいたします。

(参加者)

会員の方から言われてきたんですけれども、エナジートロンというのが、今、福祉のところは何台か置いてありますね。これのもう少し強いのを希望したいんだというような希望がありましたけれども、そういうところは前にも曙地区の会館でそのようなことをお願いしたんですけれども、全然進んでいないというようなことで、今回、私たち、こういうことがあるよと言ったら、もう一度そういうところでお願いしてみただけないかということで預かってきましたので、よろしく申し上げます。

(福祉保健部長)

それでは、福祉保健部から回答させていただきます。エナジートロンにつきましては、かねてから市民の方からご要望いただいているところでございます。先ほど説明がありましたように、来年度の予算編成を現在行っているところでございますが、そのメーカーに内容について担当から確認をさせていただいているところでございます。今、下の階のところヘルストロンというものを皆さんにご利用いただいているかと思うんですが、あれの強力というか、バージョンアップしたものということでの健康機器という形となりますが、メーカーに確認させていただきましたところ、個人が家庭用で使うことを主流に作っ

ていらっしゃるということのようです。不特定多数の方が公共施設などで使うという製品ではないという説明を受けているところでもあります。下のヘルストロンは、今ですとコインを入れて皆様にお座りいただいてご自由にお使いいただける、誰でも使えるという形になっていますが、エナジートロンはそれぞれ個人に対して設定を行って、それぞれがそれぞれに合わせてご利用いただくというようなことで、ちょっと操作性も難しいというようなところがあるという話でした。現在、導入に向けての検討を行っているところですが、なかなかこういう公共施設で、不特定多数の方にどうぞご利用くださいというものではないのかなというところで認識させていただいております。なかなかすぐ導入ということでは難しい状況にあるのかなということで認識してございます。

(参加者)

検討はしているということですか。検討はしているということでもいいですか。

(福祉保健部長)

先ほども言いましたように、メーカーとも話をさせていただいているところがございます。メーカーは、こういった公共施設で不特定多数の方々にご利用いただくというものではないというようなことで話を伺っておりますが、今後、メーカーでそういったものを開発していくというようなことがあれば、随時検討させていただければ導入に向けて進めるということは可能かと思っておりますので、引き続き状況を注視していくというような形になるかと思っております。

(参加者)

今、幸町の4丁目でしたか、物すごく大きな住宅開発が行われておりまして、若葉町、幸町辺りの農地というか、緑地というか、農地みたいな緑地がどんどん減っておるんです。今度、若葉小学校が新しくけやき台小学校のほうに移りまして、旧若葉小と、それから、清掃工場が新しく昭和記念公園のほうに移りますが、あそこの跡地を一体化して、ぜひ緑地を減らさないような形での開発というか、緑を誇る好環境の立川市というか、特徴というか、ぜひ守るような形での開発をお願いしたい、再開発をお願いしたいと思っております。これは要望です。

(総合政策部長)

これから今年度末になりますと、清掃工場が新しい場所に移転をしましてまいります。それから旧若葉小学校について、昔のけやき台小学校と若葉小学校が、一つになりまして、旧若葉小学校が廃校という形で空きの学校になっております。清掃工場と旧若葉小学校が、地域的には、今、一体の形になっております。ここをどうしていくのかということ、地域の方々とは皆さんでいろいろご意見を聴きながら、市でプランをつくっているところがございます。清掃工場の跡地、どうしていくのか、この緑の多い玉川上水ということもございますので、どういった使い方がいいのか。やはり、緑をといるところの声も大きくいただいておりますので、そういったご意見を生かしながら、一旦、令和6年頃に若葉町のまちづくりの大きな方針、例えば、こういう形で建物部分を使っていきたいというものをお示ししていきたいと思っております。緑という部分については我々としても、若葉町の皆さんがイメージをたくさんお持ちでございますので、そういった意見を生かしながら、清掃工場の跡地について、一体として地域の皆さんに愛されるようになっていただきたいと思います。ところで、検討を進めております。また詳細が決まりましたら広報等でいろいろご説明してまいりますので、またご意見をいただければと思っております。よろしく願いいたします。

(参加者)

ちょっと、私ども、朝、私の前に公園があるんです。朝6時半からラジオ体操をやってるんですね。その前に早い人は来て、公園をお掃除してくれているんです。それと、目の前に道路がありますから、道路を毎日お掃除しています。そこで、前回、公園緑地課のほうで手配された植木屋さんが来てくれたんですけど、上だけ刈って、やっぱり根っこはなかなか取れませんよね。そういうことで、かなり葉っぱが出ちゃっています。それでも、児童館の子供たちがあそこのスペースで遊んでいたりしておく、やはり自分のところの児童館の前の狭いところで追いかっこをしたりと、いろいろなボール遊びをやったりやっていますけど、この間の9月19日の敬老の日の、掃除をしましょうということで、老人会で13人か14人、出て、周りに草花が植えてあればきれいだったと思うんですけど、草ぼ一ぼ一だから、皆さんで2時間かけて抜きましょうと。2時間かけて抜いてもらいました。きれいになりました。きれいになったら、横側にあるまた別な場所が、今、かなりのことになっている。ここで、ちょっと、今度、市長が来るなら聞いてみたらということでお聞きしたいんですけど、確かにうちの公園はやっているからいいんですね。前に、幾らか出すからある会の人やりたいということで、自分で勝手に決めて、やりましょうということになった。じゃ、どなたがやるんですかと聞いたら、皆さん、残って、役員がやるんだよと。途端に反対されて、結局は今までの人が来ているんです。じゃ、どうしたらいいのかなと思ったんですけど、今、芝刈り機みたいなありますよね、草刈る。そういうものは、1台くらいは市にお願いすれば買ってもらえるんじゃないかなと、単純ですが、そういう話がありました。ですから、ちょっとそれを、今、話をしたんですけど。どうなんでしょう。買ってもらえるかももらえないかで、老人会だから、2万も3万も出すわけにはいかないということをちょっと聞きたいと思います。

(総合政策部長)

公園の管理についてですが、皆さんにお力をいただいて、きれいにさせていただいていることは我々も承知をしております。そういった機材を全ての公園、手を入れていただいている皆さんにそういったものをお渡しして、やっていただければというところは思っていますが、希望している方にそういった機材を全てお渡しして、またそれを管理していただくというのはなかなか難しいところもあります。一旦、公園を管理している担当課にも、今日、市長にこういったお声が直接ありましたということはお伝えをしていきたいと思えます。どういった形でそういったご意見にお答えできるかというところ、基本的には市民の皆さんの手作業でお願いをしているところもございまして、機械を入れればもう少しきれいにできるというところもあるかもしれませんので、今日、市長にいただいたご意見は、公園を管理している担当部署のほうに伝えますので、またそこで考えてもらえればと思っております。

(参加者)

いつも、うち、小さい車で担当者が来ているんです。今、1週間に1回ぐらい、枯れ葉を持っていつてくれるんです。それで、いつもきれいにしてもらってありがとうございますって言って来てありがたいんです。1点だけちょっとお願いいたします。

(参加者)

実は、今朝もちょっとごみ出しをしてきたんですけども、今度、サポートシール事業というのをやるということで案内が来たものですから、その詳細を、どうやってシール

をもらったらいいのかとかいう話を市長はご存じですか。基本は、市のほうでいろんな課で考えて、いろんなことを、制度を、新しい制度とか、我々にとって、高齢者にとっても有用な制度をいろいろつくってくださっているのはもう十分承知しているわけです。先般来、うちのクラブで使っているのは、高齢者見守り安心事業という支援事業があるんですけども、それを推奨しようということでもいろいろ手助けして、始めようとしているんですけど、ところが、いろんな書類を、書類はネットから取り出せるんですけども、申請するには市役所へ持っていかなきゃならないということになりますね。それから、その後、通知書が来て、その後、また補助金の請求をまた市役所なりに持っていかなきゃならない。書類を持っていかなきゃならないというようなことが度々ありまして、実際問題として、特に高齢者は、うちの地区の場合、市役所へは直接もう行けなくなりましたので、一度、立川駅北口まで出て、そこからまた市役所へバスで行かなきゃならない。いろんな苦労があって来ているような状態なんです。ですから、制度をつくっていただいて、これは今思うんですけど、実際問題として、とても使いづらい。で、知られる努力もなかなかない。この間、ちょっと高齢福祉課に行って、成年後見人制度の話を、今年度から力を入れてやりますという話があったんですけど、それはとても難しいですよ。それはとても難しい。私ども、いろいろ考えて勉強しましたが、なかなか取り扱えられないかなという状況で困っているような状況です。制度をつくってくださるのはとてもありがたい。有用だと思います。ただ、それをどうやって実際に困っている人に使ってもらえるようになるかというところを何とか考えていただかないと、せっかくあっても、宝の持ち腐れというような感じになっているんじゃないかと私は思うんです。

もう一つ、ついでに言わせていただくと、市のほうでいろんな催しを計画して下さって、例えばAIMなんかでもいろいろありますよね。ところが、あそこへは行けない。今、とても行けなくなっちゃったという、私の周りは当然で、だから、せっかく、ためになる講演会や何かを開催して下さっても、もう一つ詰めて、そこへの足を確保というんですか、どうやったら来れるかという、参加できるかという方策まで考えていただかないといけない時代になってきているんだろうというふうに思うんです。ですから、そこら辺まで、先ほど、最初のほうにも申しましたが、若い人はなかなかそうは思えない。そんなことになることはないんじゃないかとおっしゃるんですけど、実際に高齢者、私のクラブの平均年齢は84歳です。それをどうやって行くかというのは、非常に切実な問題で。だから、ここまでやるなら、ちょっと対策を立ててやっていただきたいというふうに思います。

(福祉保健部長)

では、福祉保健部のほうからご回答させていただきます。皆様の生活、その他様々なことで制度をつくらせていただきまして、申請等、お手をかけていることは我々も重々認識しております。できるだけ皆様、利用者の方々の負担とならないような制度設計というところを心がけてやっているところではございますが、なかなか全てをなくすというわけにはいかなくて、皆様にご不便をかけるような、お手をかけるような部分が残ってしまうというような現在の状況であるかと思えます。我々、市職員としましては、今、ご指摘いただいたようなことを心に、肝に銘じまして、できるだけ皆様の負担にならないような形で取り組んでいくというようなことを考えているところでございますので、引き続き可能な範囲でご協力いただければというふうに思います。

また、先ほどの移動支援ということでも併せて検討するようというふうなことでご指

摘いただきました。我々としても、なかなか皆様、移動が難しいということは認識をさせていただいております。現在、各地域でそれぞれの課題をピックアップさせていただいて、どうしたら解決できるのかというようなことで、そういった体制を、今、全ての地域ではございませんが、始めたところがございます。そういった活動の中から、皆様の生活の支援につながるような制度が創出できればということで、今現在、進めているところがございますので、もし皆様のお住まいの地域で課題があるということであれば、その地域全体で、市も含めて全体で考えていくというようなことでの解決策が見いだせればということでの取組でございますので、そういったところで結果が出てくれば、全体的な制度として実施できる場所がございますので、今、始まったばかりでございますけれども、そういった取組もさせていただいているということでご承知いただければと思います。

今後とも、市としては皆様のお役に立てるようサービスの向上に努めてまいりますので、ご理解いただければと思います。

3 閉会の挨拶

(市長)

大勢の方にご参加いただき、また、たくさんのお声をいただきまして大変ありがとうございます。いただきましたそれぞれのご意見につきましては、市としてなるべく皆さんからのお声が通じるような、そんな行政を行ってまいりたいと考えておりますので、参考にさせていただきたいと思っておりますのでございます。

本日はご苦労さまでした。ありがとうございました。